

# 2018年 新春ご挨拶

一般社団法人 日本加工食品卸協会  
会 長 國 分 晃



新年明けましておめでとうございます。

2018年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。全国各地の皆様におかれましては、つつがなく新春をお迎えのことと存じ、心よりお喜び申し上げます。

昨年は電撃的な衆院解散の決断から政権基盤の固め直しが行われ、超長期政権が視野に入り、多様な政策を進めるための優位性が確保されました。この優位性を生かし持続的成長につながる大胆な方策の進展に期待するところです。

国内景気は、いざなぎ景気を超える拡大が続いていますが実感なき景気拡大で、消費マインドは慎重で価格志向が依然根強く物価上昇率2%の達成を見送り、デフレからの脱却はできませんでした。流通環境の変化はかつてないほど激しいスピードで変化し、業態間競争に加えEC市場の拡大から競争が激化しました。さらに労働力不足に伴う物流費の上昇に歯止めがかからず、コスト環境は厳しい状況となりました。また働き方改革など生産性の向上に対する取り組みの要請も強まりました。

こうした中で弊協会は、業界のコスト合理化を目指して、引き続き共通インフラの基盤整備に注力する方針を掲げ、情報システム、物流システム分野で業界の標準化や共同化に向けての活動に取り組みました。また協会活動におけるコンプライアンスに関して運営ガイドラインを策定し、業界の健全な発展に寄与する環境を整備しました。

さて、本年は平成31年10月に予定されている消費税率の引き上げと軽減税率制度の導入を実施するか否かの最終判断をする年度になるため、本格的な経済環境の整備が期待されるところです。具体的には、東京オリンピックの開催を控えてのインフラ建設などの需要、人手不足への対応のための投資や研究・開発投資などが要因になると思われますが、さまざまな分野でアドバルーンではなく変革を伴う行動が活発になることが予想されます。こうした環境変化への対応も業界として重要な課題となりますので、中間流通ならではのプラットフォーム機能を発揮して食品流通の健全な発展に寄与して参りたいと考えております。

最後に本年も関係各位に一層のご指導・ご鞭撻を願いますとともに、本年が皆様方にとってよりよい年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。